※令和４年度以降入学生用

学校番号	413

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書出版）						
副教材等	硬筆レッスン帳　（教育図書出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの学習をさらに発展させて、作品作りに取り組もう。

・作品づくりの意図や目的を明確にし、それに応じて線質や字形を工夫して表そう。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動をとおして、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。（「知識及び技能」の習得）
（2）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。（「思考力、判断力、表現力等」の育成）
（3）主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育む とともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書をとおして心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。（「学びに向かう力、人間性等」の涵養）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身につけ、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	篆刻	・篆書「泰山刻石」 ・8分の名印を作る	ａ：篆書の基本的な特徴や、正しい印刀の使い方を理解し、表現できている。 ｂ：篆書の文字が持つ造形の味わいや、刻した線の良さについて考え、工夫して作品を作ることができている。 ｃ： 主体的に活動に取り組み、最後まで丁寧に仕上げることができている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 ワークシート 観察
	楷書	・牛橛造像記	a：楷書の基本的な用筆について理解し、筆の弾力を生かして牛橛造像記ならではの力強さを表現できている b：篆刻で学習した、刻した線の良さについて理解した上で、それを表現するための用筆法について考え、工夫して作品を作ることができている。 c：主体的に活動に取り組み、学びを調整しながら粘り強く制作することができている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 ワークシート 観察
2	隷書	・曹全碑 ・礼器碑	a：隷書の基本的な用筆について理解し、筆の弾力を生かして古典の良さを表現できている。 b：隷書の美や効用について考え、工夫して作品を作ることができている。 c： 主体的に活動に取り組み、学びを調整しながら粘り強く制作することができている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	課題探究	・教科書より課題を選択し、個人で制作する	a:自分で選択した課題について、正しい用筆法を理解し、筆の弾力を生かしてその良さを表現できている。 b:自分で選択した課題について、その良さを考えることができている。 c:主体的に学習に取り組み、学びを調整しながら粘り強く制作できている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 ワークシート 観察
3	漢字仮名交じり	・写真と文字との組み合わせを考えて作品を制作する。	a:墨の潤渇や線の太細などの筆特有の良さを理解し、紙面構成を工夫しながら表現することができている。 b:自分で選択した写真に合う言葉を考え、それに合うような構成を工夫している。 c: 主体的に学習に取り組み、学びを調整しながら粘り強く制作できている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品 ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度